

★ファミリーアワー

「ファミリーアワー」は、幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろん、宇宙旅行や冒険にもでかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方もおすすめです。

日時によっては、子ども会などでの団体予約も可能です。詳しくはお問い合わせください。

4/ 1 ~ 『太陽系アドベンチャー』

7/ 15 ~ 『はるかなる星の世界へ』

12/ 16 ~ 『ふたごの星の物語』

3/ 17 ~ 『太陽系アドベンチャー』

観覧料

種類	区分	展示室とプラネタリウム	展示室のみ
観覧券 (当日1回)	大人	800円	400円
	高大生	500円	200円
	団体	20名から(有料30名以上1割引・100名以上2割引)	
定期観覧券 (1年間有効)	大人	3,200円	1,600円
	高大生	2,000円	800円

※中学生以下は無料です。 ※大学生・高校生は学生証が必要です。
※特別展など別料金が必要な場合があります。

展示室観覧時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日・5/1, 8/14は特別開館)
毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日・7/21, 8/18は特別開館)
年末年始(12/29～1/3)
臨時休館日 5/9(火)、7/14(金)、9/5(火)、9/6(水)

9/7(木)、9/8(金)は開館しておりますが、
プラネタリウムのみ休演いたします。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号
(芸術と科学の杜・白川公園内)
TEL: 052-201-4486 FAX: 052-203-0788
http://www.ncsm.city.nagoya.jp/

この用紙は古紙/パルプを含む再生紙を使用しています

★インフォメーション

2017.4～2018.3

投影スケジュール (投影時間は約50分間です)

表は基本パターンです。都合により内容変更や休演の場合があります。

	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
日曜・祝日 夏休み	一般	ファミリーアワー	一般	ファミリーアワー	一般	一般
土曜日 春・冬休み 5/1・5/2	一般	一般	一般	ファミリーアワー	一般	一般
平日	学習※ 一般	学習※ 一般	学習※ 一般	一般	一般	一般

春休み:2017/4/1～4/6、2018/3/25～3/31
夏休み:2017/7/21～8/31 冬休み:2017/12/24～2018/1/6

★詳しくは当館ホームページの「投影スケジュール」をご確認、
またはお問い合わせください。

★定員の一部に団体(学校団体も含む)が入ることがあります。

※平日の10:00の回、11:20の回、12:40の回については時期により学校団体向けの学習投影を行います。学習投影は、一般の方はご覧いただけませんのでご了承ください。

★伏見からたった5分の別世界★
名古屋市科学館・プラネタリウム



広告

brother
at your side

Brother Earth

ブラザーアース

プラネタリウムの愛称である「Brother Earth」は
ブラザーグループが掲げる環境スローガンです。
www.brotherearth.com
ブラザーは、名古屋市のネーミングライツ・パートナーです。

Brother Earth
よりよい地球環境を、あなたとともに。

ブラザー工業株式会社

プラネタリウム・年間ガイド

2017.4～2018.3

名古屋市科学館



光学式プラネタリウム「ユニバーサリウム IX 型」
デジタル式プラネタリウム「スカイマックス DS II」

名古屋市科学館のプラネタリウムは、1962年に開館し、
2011年に大規模なリニューアルをしました。

世界最大の35mドーム。光学式プラネタリウムによる限りなく本物に近い星空。デジタル式プラネタリウムによる迫力ある宇宙体験。天文現象や最新研究データの可視化。そして専門学芸員による生解説をお楽しみください。

直径35mドーム 350席のリクライニング&回転シート



Brother Earth(ブラザーアース)は、
プラネタリウムドームの愛称です。

Brother Earth
ブラザーアース

★一般投影

今夜の星の探し方から、その時々天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方むけに、学芸員が生で解説します。

4月 『木星と衛星たち』

昨年木星に到着した探査機ジュノーから、すばらしい画像が続々と送られてきています。また、ハッブル宇宙望遠鏡が衛星エウロパの水蒸気噴出を観測しました。木星と衛星の最新像を紹介します。

5月 『となりの星へ』

太陽に最も近い星ケンタウルス座α星は、実は3つの星が回りあう三重連星です。そのなかでも一番太陽に近いのがプロキシマ・ケンタウリ星で、まわりを回る惑星も見つかっています。

6月 『人工衛星 60年』

1957年に人類初の人工衛星が打ち上げられてから、今年で60年になります。このわずか60年のあいだに宇宙開発はめざましく進展し、今では数千個もの人工衛星が地球を周回しています。

7月 『宇宙のひろがり』

宇宙ステーションが回る上空400kmの身近な宇宙から、恒星が点在する銀河系の世界、無数の銀河が群れをなす巨大な宇宙構造まで、100億光年を超える宇宙空間のひろがりを感じてみましょう。

8月 『アメリカ横断日食』 (9/3まで)

今年8月21日(現地時間)、北アメリカ大陸を横断する細長い地域で皆既日食が見られます。世界中から大勢の人が押し寄せ、現地は大混雑しそうです。プラネタリウムで手軽にお楽しみください。

9月 『いるか座物語』 (9/9から)

夏の大三角のすぐ近くに、かわいらしい小さな星座「いるか座」があります。ギリシャ神話によると、このイルカは詩人アリオンの窮地を救い、その功績によって星座になったとされています。

10月 『夕焼けの科学』

赤い夕日が地平線に沈んでいくと、やがて夕焼けが西の空を赤く染め上げます。沈んでいく太陽はなぜ赤くなるのでしょうか。美しい夕暮れの情景はどうやって作り出されているのでしょうか。

11月 『アンドロメダ銀河』

アンドロメダ銀河は、私たちの銀河系に最も近い渦巻き銀河です。現在は230万光年離れていますが、30億年後には銀河系とすれ違い、やがては一つになってしまうと考えられています。

12月 『オーロラが見たい』

一度は見てみたいオーロラ。世界最大のプラネタリウムドームにできるだけ本物に近い色や動きのオーロラを再現し、太陽と地球の磁場、そして大気に関わる発光の仕組みを解説します。

1月 『赤い満月』

満月が地球の影にすっぽり入ってしまうことがあります。影の中のはいつもよりかなり暗く、赤い色に変わります。これが皆既月食で、2018年1月31日、久しぶりに全国で見られます。

2月 『重力波をつかまえた』

2015年9月、アメリカの研究チームがついに重力波を捉えました。重力波は時空のゆがみがさざ波のように伝わるもので、ブラックホールや宇宙誕生直後のようすが分かると期待されています。

3月 『古代人の宇宙』

太古の昔から私たちの頭上にはいつも天があり、夜ともなれば無数の星が輝きます。古代の人々は、星々が天をめぐるようすを眺め、天に囲まれた自分たちの世界をさまざまに思い描いたのです。

★その他

その他に、幼児、小4、小6、中学生団体むけの学習投影、字幕付きプラネタリウムなど、様々な投影がございます。

詳しくは下記の名古屋市科学館ホームページをご覧ください。

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

★夜間投影 (18:30～19:45)

— 申込制 —

夜6時半からの大人限定の投影です。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合(テーマが一般投影と同じ)があります。各回のテーマをご確認の上、お申し込みください。

人数：350人

料金：700円

対象：高校生以上、大人限定です。中学生以下は乳幼児を含めて入場できません。

申込：往復はがきに、催し名、開催日(○月△日)、代表者の住所・氏名・電話番号、参加者全員の氏名・参加人数(5名まで)、返信あて名を記入して、名古屋科学館「○月△日の夜間投影」係までお申し込みください。

応募者多数の場合は抽選です。

「夜間投影のテーマ」	
開催日	受付開始日～ 申込締切日(必着)
「となりの星へ」	
5月 12日(金)	4/1～ 4月 21日(金)
「宇宙からみた地球」	
6月 9日(金)	5/1～ 5月 20日(土)
6月 10日(土)	5/1～ 5月 20日(土)
「七夕の夜」	
7月 7日(金)	6/1～ 6月 16日(金)
「旧暦七夕の夜」	
8月 27日(日)	7/1～ 7月 31日(月)
「オーロラの夜」	
9月 22日(金)	8/1～ 8月 31日(木)
9月 23日(土・祝)	8/1～ 8月 31日(木)
「お月見の夜」	
10月 4日(水)	9/1～ 9月 15日(金)
「アンドロメダ銀河」	
11月 10日(金)	10/1～ 10月 20日(金)
「クリスマスの夜」	
12月 23日(土・祝)	11/1～ 11月 30日(木)
12月 24日(日)	11/1～ 11月 30日(木)
「重力波をつかまえた」	
2月 9日(金)	1/4～ 1月 19日(金)